

平成 22 年 1 月 26 日

各位

株式会社 IHI
株式会社 UMN ファーマ

株式会社 IHI と株式会社 UMN ファーマとの協業に関する基本協定の締結について
～インフルエンザワクチン原薬の製造子会社を共同で設立～

株式会社 IHI(以下「IHI」と)と株式会社 UMN ファーマ(以下「UMN ファーマ」)は、このたび、UMN ファーマが開発する日本初の細胞培養法を用いたインフルエンザワクチン原薬の製造事業(以下「本事業」とします。)に関して、共同で事業運営を行うことを目的とした、基本協定(以下「本協定」とします。)を1月25日に締結しました。

本協定に基づき、IHI と UMN ファーマは、共同出資でワクチン原薬の製造子会社を設立します。尚、両社の関係強化と本事業の着実な推進のため、IHI は、UMN ファーマに約5億円出資します。

本件の詳細は下記のとおりです。

記

IHI と UMN ファーマは、共同出資による製造会社を平成 22 年 4 月を目標に設立する予定であり、ワクチン原薬製造設備を秋田県秋田市に建設し、平成 24 年の生産開始を予定しています。

本事業では、国内で初めて、細胞培養法によるインフルエンザワクチン原薬を安定供給するための生産体制を築いてまいります。

現在、UMN ファーマは、細胞培養によって産生される組換えタンパク製造技術を使用する、組換えインフルエンザ HA ワクチン(H5N1 株)UMN-0501 の第 II 相臨床試験を実施しています。従来の発育鶏卵を用いて製造するインフルエンザワクチンは製造に少なくとも約 6 ヶ月かかることとされていますが、UMN-0501 では製造期間が約 2 ヶ月と、ワクチンが必要とされてから市場に供給できるようになるまでの期間を大幅に短縮できます。また、UMN-0501 の製造には、感染性のあるインフルエンザウイルスの使用が不要なこともあり、ワクチンを安全に短期間で大量生産することが可能となります。

IHI グループと UMN ファーマは、これまでも IHI 横浜事業所における細胞培養によるワクチン製造技術の共同研究や、製造設備の設計、IHI の基盤技術を活用したスケールアップの検討を実施してきました。そのため、ワクチン生産体制の構築に必要な培養技術や工業化開発などで、これまで相互に知見を蓄積してきました。

IHI は、本事業は社会の安全・安心の確保につながる社会的責任・意義の大きい事業であり、IHI グループの技術と UMN ファーマの技術が事業推進に不可欠と考え、本協定の締結と出資を行うことといたしました。本協定に基づく IHI から UMN ファーマへの出資は、1 月中に実施する予定です。本事業は、IHI の中期経営計画である、「グループ経営方針 2010」で成長・注力事業と位置づけている医薬プラント事業

において、IHIグループで蓄積しているエンジニアリング技術の中核に、細胞培養に係る製造技術や要素技術等の融合を図り、プラントの本体販売のみに留まらず高付加価値な製品そのものの生産に拡げていきます。

UMN ファーマは、世界的な流行が懸念される高病原性鳥インフルエンザ（H5N1 株）の流行に備え、UMN-0501 の開発を着実に進めてまいります。また、今回の IHI との提携により、原薬製造施設の建設を進め、短期間に大量にワクチンを製造できるメリットを活かし、UMN-0501 や季節性インフルエンザワクチン UMN-0502 を一刻も早く市場に安定供給できるよう努めてまいります。

以上

<原薬製造会社の会社概要>

場所 : 秋田県秋田市、秋田新都市産業団地内
資本金 : 15 億円(予定)
出資比率 : UMN ファーマ 50.25%、IHI 49.75%
設立予定年月日 : 平成22年 4 月 1 日
従業員数 : 約30名(当初)
事業内容 : インフルエンザワクチン原薬の製造

<本件に関するお問い合わせ先>

■ 株式会社IHI

広報・IR室 TEL: 03(6204)7030
FAX: 03(6204)8613

■ 株式会社UMN ファーマ

経営企画部長 手嶋 剛
TEL: 045(624)8341
FAX: 045(624)8342
E-mail: press@umnpharma.com